



笑顔と輝きに満ちた谷原中

谷原中だより

練馬区立谷原中学校

校長 中嶋 雅彦

平成 28 年 10 月 26 日

第 6 号

## 「Education is the only solution.」

校長 中嶋 雅彦

今年も、ノーベル賞受賞者が発表され、日本人が、選ばれました。ノーベル医学・生理学賞において、細胞が不要になった、たんぱく質などを分解する、「オートファジー」と呼ばれる仕組みを解明した東京工業大学栄養教授の大隅良典さんです。日本人のノーベル賞受賞は3年連続、アメリカ国籍を取得した人を含めて25人目で、医学・生理学賞の受賞は去年の大村智さんに続き4人目だそうです。ノーベル賞の発表は、今の中学生にも、少なからず、よい影響を与えてくれています。

私は、小学生の頃、ノーベル賞の創設者であるアルフレッド・ノーベルの伝記を読み、感動したのを覚えています。毎年、世間の話題となるノーベル賞ですが、今年も私は、一昨年、ノーベル平和賞を取ったパキスタンのマララ・ユスフザイさんの国連での演説が頭に浮かびました。今回、学校便りの題は、彼女が、国連で演説を行ったときの1文です。

「One child, one teacher, one pen and one book can change the world. **Education is the only solution.** Education First.」(1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界は変えられます。教育こそが唯一の解決策です。教育を第一に)

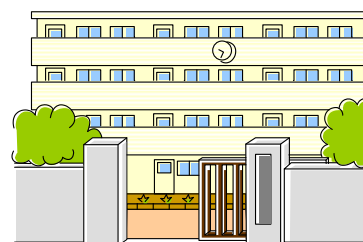
多くの人を知るところですが、マララさんは、すべての子どもたちに教育が平等に与えられることを主張しています。とりわけ、女子の教育の権利が大切であることを、自国の現状を踏まえ述べています。パキスタンのそのときの現状と今の日本を比べることはできませんが、この文章は、いつの時代も、どこの国でも教育が大切であることを端的に表しています。

世界の最先端の学問を追究する人材を育成することも学校教育の一つではあります。しかし、学校教育に携わっている私にとって、今の中学生に必要な教育を精選し、確実に定着させることの重要性を感じています。次世代を豊かにさせることや科学を発展させることは、それだけでは、子どもたちを幸せにしません。スマホなど、利便性だけでは片付けられないものが、たくさん社会に、存在します。知識だけではなく、収集した知識をよく考え、判断し、正しく行動できる人を育てていこうと考えています。それはまさしく、本校の教育目標で、その重要性を改めて感じています。

今後も本校は、保護者、地域の人々と協力をしながら、多くの人の手によって生徒を育てていきますので、ご協力をお願い致します。

### 学校教育目標

- (1) よく考え正しく行動できる人
- (2) 心身ともに健康な人
- (3) 思いやりと協調性のある人
- (4) 勤労と責任を重んじる人



新役員決まる・生徒会役員選挙 9/29 (木)



28年度も後半を迎え、新しい生徒会役員を決める選挙が行われました。体育館での立会演説会の後、各学年のフロアで投票を行いました。投票所には、練馬区選挙管理委員会のご協力によりお貸しいただいた本物の投票箱と記帳台が設置されました。18歳からの選挙権の意味や責任について考える一つの機会でもあります。新役員となった生徒のみなさん、頑張ってください！

連合音楽会 10/7 (金)

練馬文化センターで行われた連合音楽会に谷原中学校は、午前の部に合唱団が午後の部に吹奏楽部が参加しました。運動部が試合でそれまでの練習成果を試すのと同じように、合唱団や吹奏楽部も気力体力をすり減らしながら積み重ねた努力の結晶を披露することができました。



\*写真は、夏の体育館での練習風景です

1年校外学習 10/4 (火)

臨海に続く校外学習となる今回の都内巡り。「自分の住む地域を知る」というテーマで総合的な時間として行いました。調べ学習やコース作り、班行動など初めてのことばかりでしたが、一人一人が自分の役割を実行し、成果を残すことができました。また、電車の遅延というハプニングへの臨機応変な対応にも成長を感じました。 須藤 信幸



谷原中親睦会 10/8 (土)

PTA役員会の主催による初の試みである「PTA親睦会」が開催されました。お菓子と紙コップのお茶で全学年の保護者のみなさんと教職員による茶話会です。夕方の時間帯にもかかわらず多くのみなさんの参加をいただき、楽しい時間となりました。



練馬まつり参加 10/16 (日)

としまえんで行われた練馬まつりに本校の父親の会とイベントサークルの協働による焼きそば屋を出店させました。保護者のみなさんのお手伝いやお買い求めをいただき、用意した数は売完という盛況ぶりでした。みなさんのご協力に感謝申し上げます。

文化発表会 10/22 (土)

10月22日(土)に第40回文化発表会が行われました。今年度のスローガンは「金華音唱～努力に勝る天才はなし光指す導となれ～」です。このスローガンには、「一人一人の歌声が合わさるとき、華やかで美しい合唱になる。」「努力なしでは金賞を取ることは出来ない。」「文化発表会が、これからの谷原中学校にとって光が指す道となるように、明るい谷原中学校へと導くように。」という意味が込められています。このスローガンを胸に抱き、実行委員を中心に一丸となって練習や準備を重ねてきました。



合唱コンクールでは、1年生のフレッシュで元気な歌声、F組の生徒の真っ直ぐに歌う姿、2年生の去年より成長した深い歌声に爽やかな感動をもらいました。3年生はこれまでの想いがこもった大人っぽく厚みのあるハーモニーを聞かせてくれました。また、合唱団の澄んだ美しい歌声には会場が清らかな雰囲気になりました。



午後の部は、今年もF組の楽しい音楽劇から始まりました。流暢な英語のスピーチを披露した海外派遣の発表、スタンダードな曲から流行の曲まで楽しませてくれたギター部の発表、大人の思いが詰まったPTA合唱、金賞の輝きを放つ吹奏楽部の演奏…と大いに盛り上がりました。

展示部門では、各学年・教科・委員会・部活動での日頃の取り組みや学習の成果が作品として表現されて、見応えある作品揃いでした。作品を前にして「ここが凄い！」などと感想を言い合う姿がたくさん見られました。

この文化発表会を通して、実行委員をはじめ、それぞれの生徒が自分達の役割を果たし、目標や目的に向けて協力し努力する姿勢を学ぶことが出来たと思います。生徒と教員が一丸となり、来年度もより良い文化発表会の創造を目指すと共に、明るい谷原中学校へと導いていきたいです。

丹野 亜耶

エビングハウスの忘却曲線によれば、人間は20分後にその出来事を42%忘れ、1日後には74%忘れることとなっている。だが、文化発表会のことは、今でも鮮明に記憶している。きっと大人になっても忘れることはないだろう。いや、絶対に忘れたくない思い出だ。谷原中生の気持ちの一つになった瞬間を感じることができたから…。 実行委員長 3年 山根悠都

創立40周年記念行事実行委員会



本年度で創立40周年を迎える本校は、来年10月に記念式典を実施いたします。元PTA会長を務められた皆様や学校関係の方々によって構成される実行委員会が始動し、様々な行事にも40周年記念の文字が掲げられ、生徒も多くの場面で関わっています。その一つとして、今後の広報紙やポスター、記念誌等にプリントされるシンボルマークやロゴタイプ、スローガン等を全校生徒によって決定しました。文化発表会の閉会式前に旧生徒会役員の3年生によってその発表を行い、周年行事実行委員長の井本氏から受賞した生徒へ表彰状が手渡されました。(中央写真は、シンボルマークで谷原の頭文字も表しています)

11月の主な予定

- 1日 (火) 3年進路相談 ～8日
- 4日 (金) 漢字検定
- 9日 (水) 期末考査一週間前
- 11日 (金) F組6校時カット
- 12日 (土) 土曜授業
- 16日 (水) 期末考査 ～18日
- 18日 (金) F組八校合同文化発表会  
小学生部活動体験 (北原)
- 21日 (月) 第Ⅲ期時間割始
- 24日 (木) 2年上級学校訪問  
3年伝統文化体験
- 26日 (土) 練馬区中学校駅伝大会
- 30日 (水) 秋の歯科検診 (午前)